



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.22

「真の働き方改革」を実現するために!

9月定例議会:一般質問 市職員の働き方の実態について

発言趣旨

市職員の働き方の現状について確認した上で、問題提起をすることによって「真の働き方改革」につなげるために質問する。

質問事項①

超過勤務をしなければ通常業務をこなせない状況が問題だと捉えているが、不必要な業務の洗い出しや削減等についての働き方改革を行うのか。

市長の答弁 (一部)

慢性的に超過勤務を実施しているような状況は、指摘のとおり適正ではないと考えている。(中略)
働き方改革とのバランスを見て、行政サービスの低下につながらないようにすることを前提に、通常業務は通常の勤務時間内に終わるという状況に少しでも近づけるように、引き続き事業、業務の見直し、削減、効率化を行っていきたいと考えている。

質問事項②

「市職員が故意に残業の記録を残さない場合は勤務実態の把握が困難」との答弁があったが、どのような場面を想定しているのか。

部長の答弁 (一部)

状況は把握できていないが、職員自身の勉強、自己研鑽など、仕事以外で残っていることはあるかもしれない。

市町の答弁 (一部)

働き方改革で「残業するな」と言われていると、申告せずこっそり残業して、故意に記録を残さないこともあるかもしれない。



9月定例議会:一般質問 市のハラスメント対策について

発言趣旨

第三者調査委員会でハラスメントは認定されたが、市職員向けのアンケートにおいても具体的なハラスメントのエピソードが挙げられている中、今回の一般質問では、市として本気でハラスメント対策に取り組むことが職場環境の改善になると考え質問する。

質問事項①

ハラスメントを防ぐ対策として、市としてハラスメント行為が認められた場合は、速やかに降格や減給、異動といった厳しい処分が必要だと考えるが、いかがか。

市長の答弁 (一部)

ハラスメント行為が確認された時には、行為の対応、被害者の精神的、または肉体的苦痛の度合い、職場環境の悪化に与えた影響などを考慮して、必要に応じて懲戒処分や異動などの人事上の措置を行うこととしている。

質問事項②

ハラスメント行為者が処分を受けても、行為者自らが行いを悔い改め、考えを正すことは困難であると考えるが、市はどのような対応を取ることににより行為者が更正できると考えているのか。

市長の答弁 (一部)

処分のみならず、再発防止や自身の行動変容を目的とした取組が重要であると考えるため、個別指導、研修、教育プログラムを職場復帰するまでにやっていきたいと考えている。

私の想い

ハラスメントを根絶して、少しずつでも、市役所はじめ市の職場環境が良くなるよう向き合い続け、「敦賀市で働いてきて本当に良かった!」と市職員の皆さんに感じてもらえるように、これからも全力で取り組んでいく。



12月定例議会:一般質問 敦賀市のカスハラ対策について

発言趣旨

市役所などのカスハラ被害の実態やカスハラ対策の状況等の確認をした上で、カスハラ対策について提言等を行うため質問する。

質問事項①

市の職員から「窓口で長時間にわたり怒鳴られていても誰も助けてくれない」などの声を聞いているが、このような際、市としてどのような対応を取ることが正解だと考えているのか。

部長の答弁 (一部)

市民の正当な権利行使への対応は職員の責務であるが、怒鳴るといった部分についてはハラスメントに当たるのではないかと想定はされる。カスハラについてもマニュアルで規定しているので、職員には周知を徹底していく。

質問事項②

働き方改革の観点からも毅然としたカスハラ対策は重要で、カスハラの未然防止対策が効果的である。しかし、敦賀市の対策不足は明白である中、カスハラ対策について、市長の覚悟を聞かせていただきたい。

市長の答弁 (一部)

指摘のとおりカスハラを未然に防止する対策を講じて、結果的に敦賀市役所からカスハラをなくしていきたい。

12月定例議会:一般質問 真の働き方改革の実現について

発言趣旨

再発防止プロジェクトチームの最終報告では、「組織風土の変革・働き方の転換」とあったが、実効性ある真の働き方改革の実現のためには、今議会が重要な機会と捉え、前回の一般質問後の進捗状況等を確認しながら、今回は「真の働き方改革の実現について」質問する。

質問事項①

真の働き方改革を実現することに対する、市長の覚悟を聞かせていただきたい。

市長の答弁 (一部)

真の働き方改革、「真の」と付けられた「真の」という言葉に、形だけのものにして欲しくないという議員の思いが伝わってきた。(中略)私自身が職員の先頭に立って働き方改革を進めていく。就任して以来その思いは一切変わっていないので、今後も職場環境の改善に全力で取り組んでいきたいと考えている。

質問事項②

「働き方改革を進めていく」と言うことは簡単だが、実行に移すのは簡単ではない。市長から市職員の皆さんに向けて「始業前も終業後も1分単位で超過勤務申請をするように」メッセージを出してもらいたい。

市長の答弁 (一部)

今回の質問は、「残業」が大きなテーマとなったが、「残業時間は全部つけてください」ということを、私から職員の皆さんに申し上げたい。

私の思い

「真の働き方改革」を今回の一般質問に選んだ理由は、「市の職場環境について向き合っていたのか?」ということを経験の中で、一昨年の8月20日に自ら命を絶った市職員のことを絶対に忘れないためである。また、市民の皆さまからは、市の職員のことばかり質問して、「豊田は何をやっているんだ!」と叱られるかもしれないが、私にとってはとても大事なことでと捉えているため、これからも「真の働き方改革」について向き合う所存である。

編集後記

市民の皆さまにおかれましては、穏やかに期待あふれる新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。さて、私事ではありますが、母校である大阪府立牧野高等学校の創立50周年記念祝賀会に先日出席しました。同級生や先輩・後輩の中には、大阪で地方議員になっている人や東京で市長になっている人、先生だった人が国会議員になっていたり…多くの人が政治家として、それぞれの地域で活躍される姿に刺激を受けました。そんな中、昨年は私が以前経営していた会社の課長が亡くなり、9月には義父も亡くなりました。義父は、口数が少なく物静かな人でしたが、お酒が好きでアルコールが入るといろいろな話をしてくれました。私の実父はフィリピンに生活拠点を移し長年会うことも話すことも無かったこともあり、義父と一緒に飲むお酒を楽しみにしていました。そんな義父は、病気がきっかけでお酒を飲まなくなり、呆気なく天国へ行ってしまいましたが、私はせめてもの恩返しとの思いで喪主を務め、義父の死と真正面から向き合わせていただきました。義父に会えないことは寂しい限りですが、これからも自分自身が果たすべき役割と向き合い続けますので、どうか天国から見守って欲しいと思います。最後になりましたが、市民の皆さまにとって、健やかで充実した2026年となりますように心からお祈り申し上げます。皆さま本年もどうぞよろしくお願いいたします。



豊田こういちレター Vol.22

2026年1月16日発行
発行責任：市民クラブ
編集責任者：豊田耕一

YouTubeにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも
是非ご覧ください!
政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com

